

津生協病院だより

2012年4月発行
第29号（春号）

みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院
三重県津市船頭町津興1721番地
TEL 059-225-2848 (代) / FAX 059-225-2922
<http://www.tsucoop.jp>



撮影：写友会 古田 一見

津生協病院 医療・福祉宣言

【基本理念】

私たちは、患者さまの権利を尊重し、地域から信頼される医療機関をめざします。

【基本方針】

1. 私たちは、安全・安心で患者さまの納得のいく医療を進めます。その実現のために技術の向上と環境の整備を進めます。
2. 私たちは、差別のない医療・福祉の実現をめざし、社会保障制度充実の運動を進めます。
3. 私たちは、命が大切にされる戦争のない平和な社会を実現する運動を進めます。
4. 私たちは、地域住民や組合員の皆さまとともに、安心して住み続けられる街づくりを進めます。

当院の卒後臨床研修の取り組み

当院は、基幹型臨床研修指定病院として独自の研修プログラムと家庭医療学会認定のプログラムを持ち、初期研修医と後期研修医を受け入れています。

臨床研修病院としては病床数149床と小規模ですが、一人の患者さまでも様々な病気を抱えていることが多く、科にとらわれない総合的な治療介入を行うことができ、幅広くcommon disease（一般的疾病）を学べます。研修医の定員が2名と少ない分、院内での急変対応やまれな症例・手技などがあるとすぐに声をかけ、経験を積める環境があるのも魅力の1つです。研修医1人1人の到達点をきちんと把握し、改善してほしい点についても話し合い研修内容に反映させる…といった小規模ならではのフットワークの軽さを活かした研修を提供しています。



初期・後期どちらの研修も当院だけでなく、研修施設として登録されている病院の協力を得ながら、研修プログラムを進めています。MMCプログラムも始まり、より県内の研修病院が協力しあう環境も生まれてきているので、さらなる連携のもと、研修医育成に励んでいきたいと思えます。

今年度は初期研修医1名と、後期研修医が1名！充実した研修を過ごしてもらえるように、病院全体でサポートしつつ、研修医からも学びながら、より良い環境をつくっていきたくと考えています。



小規模病院での研修は、学習の機会が少ないというデメリットがよく言われますが、津生協病院では他職種の専門性も活かし、可能な限り学習の場の提供を行っています。医師同士でも、各科の壁を越えた集団的指導体制をとっているため、他科へコンサルタントできる環境があります。

また、病院内で医師としての基本的臨床能力を身につけることはもちろん、医療福祉生活協同組合という環境を活かし、地域に出て健康講座を開いたり、看護学生対象に学習会を行ったりという講師体験も研修の一環として行っています。



地域健康講座の様子

講師



学習会の様子

講師

NPO法人MMC卒後臨床研修センター・三重卒後研修医学会 最優秀研修医賞 & 最優秀指導医賞受賞

平成23年度の三重卒後研修医学会において、当院の研修医である田中啓太医師が研修医最優秀賞、宮田智仁医師が指導医最優秀賞を受賞しました。

この医学会で田中医師が発表した症例は、無保険が原因で受診が遅れ死亡となった末期大腸癌患者の症例です。社会的問題も含んでいる点が評価されました。「患者や疾病の背景にある生活・地域・職場環境に目を向ける」、日々大切に実践していることが評価されたことは当院としても非常に嬉しく思います。



左…研修医：田中啓太医師
右…指導医：宮田智仁医師

新入研修医の紹介・・・



津生協病院研修医の岡村聡と申します。

いまテレビドラマでは、『37歳で医師になった僕』を草薙剛さんが演じていますが、私の場合は30歳で脱サラして育メン、34歳で三重大学に入学、40歳で医師になりました。

気力体力は、まだまだ若者には負けません。三重、日本、いや世界のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

津生協病院附属診療所・デイケア

花びら満開の樹に、たくさんの動物たちがとても楽しそうに群れています・・・

デイケア利用者様と職員の共同作品です。

この樹は間もなく新緑の若葉であられ、秋には紅葉を楽しませてくれるそうです。

附属診療所2階デイケアルーム前の廊下に展示してありますので、皆さんどうぞご覧ください！
(たて：150cm、よこ：150cm)

附属診療所では、通常6時間デイケアの他、1時間・3時間の短時間デイケアを行っています。

【お問い合わせ…TEL：225-6161】

